

播磨町国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）

第2期 中間見直しについて

播磨町では、平成30年3月に「播磨町国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）第2期」を策定し、被保険者の生活習慣病対策をはじめとする健康増進や重症化予防等の保健事業を推進し、健康寿命の延伸や医療費の適正化を目指しています。計画期間は、平成30年度から令和5年度までの6年間です。

この度、計画の中間年として現状を分析し、健康課題を抽出し目標の見直しを行いました。

【播磨町における健康課題】

- ・ 特定健診受診率、特定保健指導実施率の向上
- ・ 生活習慣病に係る医療費が増加傾向にあり、疾患予防・重症化予防ともに対策が必要
- ・ 特に割合が多い糖尿病と高血圧について重点的な重症化予防が必要

【第2期計画の主な目標及び実施事業】

第2期計画の目標	実施事業
特定健診受診、特定保健指導実施率の向上	特定健診未受診者への勧奨
高血糖リスク保有者の重症化対策	健康教室の開催、受診勧奨、電話相談
高血圧リスク保有者の重症化対策	生活習慣病予防教室等の開催、受診勧奨
医療費の適正化	重複服薬者対策、後発医薬品促進

【評価の方法】

データヘルス計画の目標値と実績評価区分を以下の4段階で分類します。

- ◎ 計画どおり進行（計画達成可能）
- 改善している（計画達成の見込がある）
- △ 改善しているが計画どおりではない（計画達成が危ぶまれる）
- × 改善なしあるいは悪化

【見直し内容】

兵庫県国保団体連合会主催の「保健事業支援・評価委員会」において兵庫県とも連携し、より効果的な保健事業について協議し、次のとおり、対象区分・対応施策について見直し新たな目標値を定めます。

1. 特定健診受診・特定保健指導の目標

(図表 68) 特定健診受診率・特定保健指導実施率の短期・長期目標値

特定健診受診事業・特定保健指導事業							
目的	糖尿病等の生活習慣病やその他疾患を早期に発見し、適切な受診で重症化及び心身機能低下を予防するとともに、被保険者の健康の保持増進・改善を図ります。						
事業評価	評価指標	実績値				新たな目標値	
		H28	H29	H30	R元	R2~4	R5
	特定健診受診率	35.2%	35.4%	36.1%	34.5%	前年度以上	60%に近づける
特定保健指導実施率	23.4%	25.6%	36.1%	24.2%	前年度以上	60%に近づける	

【現状分析等】

受診勧奨や未受診者対策についても毎年改善したものを実施し、少しずつ受診率は向上していましたが、令和元年度は新型コロナウイルス感染症の影響があり、今後もその影響は続くと考えています。

【評価】

△ 改善しているが計画どおりではない（計画達成が危ぶまれる）

【目標値の変更】

国の指針である 60%の目標値がそもそも高いことに加え、新型コロナウイルス感染症予防策をとりながら保健事業を実施していくこととなることから、目標値を見直します。

しかしながら、国の指針が令和 5 年度で 60%であることから、60%未満を目標値とすることは難しいため、「60%に近づける」に改めます。

【事業の方向性】

令和 3 年度からは、受診勧奨・未受診者対策事業を更に推進し、新型コロナウイルス感染症予防対策をとりながら受診率向上に努めます。

2. 重症化対策の目標

(1) 高血糖リスク保有者の重症化対策

図表 69 高血糖リスク保有者の重症化対策の目標値

高血糖リスク保有者の重症化対策					
目的	対象者をリスクに応じて分類し適切な施策を実施し、腎不全・人工透析への移行などの重症化を予防します。				
計画 画 時 区 分 及 び 実 績	対象者	対応施策	現状値		
			H28	R元	
		特定健診受診者 * 特定保健指導対象者、人工透析者を除く	—	1,903 人	1,653 人
		① HbA1c(NGSP)5.6%未満 (高血糖リスクなし)	健康教室	314 人	390 人
		② HbA1c(NGSP)5.6%以上(尿蛋白・eGFRは問わない)	健康教室	1,589 人	1,250 人
		③ HbA1c(NGSP)6.5%~6.9%かつ尿蛋白(+)以上またはeGFR60 未満、HbA1c(NGSP)6.5%~6.9% (尿蛋白(-)または(±)、eGFR60 以上) 上記いずれかで現在糖尿病治療あり	健康・ 栄養相談	103 人	86 人
		④ HbA1c(NGSP)7.0%~7.9%かつ尿蛋白(+)以上またはeGFR60 未満、HbA1c(NGSP)7.0%~7.9%かつ尿蛋白(-)または(±)、eGFR60 以上 上記いずれかで現在糖尿病治療あり	糖尿病相談	82 人	71 人
		⑤ HbA1c(NGSP)8.0%以上かつ尿蛋白(+)以上またはeGFR60 未満 HbA1c(NGSP)10.0%かつ尿蛋白(-)または(±)、eGFR60 以上 上記いずれかで現在糖尿病治療あり	糖尿病指導	7 人	10 人
	⑥ HbA1c(NGSP)6.5%~6.9%かつ尿蛋白(+)以上またはeGFR60 未満、HbA1c(NGSP)6.5%~6.9%かつ尿蛋白(-)または(±)、eGFR60 以上 HbA1c(NGSP)7.0%~7.9%かつ尿蛋白(+)以上またはeGFR60 未満、HbA1c(NGSP)7.0%~9.9% (尿蛋白(-)または(±)、eGFR60 以上) HbA1c(NGSP)8.0%以上かつ尿蛋白(+)以上またはeGFR60 未満、HbA1c(NGSP)10.0%以上 (尿蛋白(-)または(±)、eGFR60 以上) 上記いずれかで現在糖尿病治療なし	医療機関 受診勧奨	37 人	26 人	

【現状分析等】

当初は上記区分により対象者を抽出し、該当者へ必要な事業を実施しましたが、兵庫県国保団体連合会主催の「保健事業支援・評価委員会」でより効果的な区分について助言を受け、変更した区分により抽出した対象者へ必要な事業を実施していることから上記区分を見直す必要がある。

対応施策については新型コロナウイルス感染症予防対策をしながら電話での受療勧奨や個別相談など必要な事業を行っている。

【評価】

△ 改善しているが計画どおりではない（計画達成が危ぶまれる）

【目標値等の変更】

次のとおり区分、目標値等を見直します。

図表 69 糖尿病リスク・重症化対策（糖尿病性腎症重症化予防含む）

	対象者	対応施策	評価指標	現状値 (R1年度)	目標値 (R5年度)
変更後区分及び目標値	特定健診受診者 * 特定保健指導対象者、現在人工透析者を除く	—	—	1,653人	—
	① HbA1c(NGSP)6.5%以上	受療勧奨 健康栄養相談 健康教室	対象者の割合	12.9%	10%
	② 上記対象者①のうち、eGFR60未満もしくは尿蛋白(+)以上 (糖尿病性腎症重症化予防)	受療勧奨 健康栄養相談 健康教室	対象者の割合	5.4%	4%
	③ HbA1c(NGSP)6.5%以上もしくは空腹時血糖 126mg/dl 以上 または随時血糖 200mg/dl 以上に該当する未受療者	受療勧奨	受療率	53.3%	60%
	④ 上記対象者③のうち、 eGFR60未満もしくは尿蛋白(+)以上に該当する未受療者 (糖尿病性腎症重症化予防)	受療勧奨	受療率	100%	100%
	⑤ HbA1c(NGSP)6.5%以上の健康栄養相談利用者	健康栄養相談	次年度健診でのHbA1c改善率	84.6%	95%
	⑥ 糖尿病予防教室参加者 (HbA1c(NGSP)6.0%以上 6.4%以下の未治療者)	糖尿病予防教室	次年度健診でHbA1c 6.5%を超えた者の割合	—	5%

【事業の方向性】

見直した区分により、新型コロナウイルス感染症予防対策をとりながら上記施策の推進に努め、令和5年度には受療率等の向上に努めます。

更に、新たに腎症重症化対策を行います。

(1-2) 腎症重症化対策

腎症重症化対策の目標値

腎症重症化対策					
目的	対象者をリスクに応じて分類し適切な施策を実施し、腎不全、人工透析への移行などの重症化を予防します。				
区分	対象者	対応施策	評価指標	現状値 (R1年度)	目標値 (R5年度)
	特定健診受診者 *現在人工透析者を除く	—	—	1,653人	—
	① eGFR45未満	受療勧奨 健康栄養相談	対象者の割合	3.0%	2.0%
	② eGFR45未満の未受療者	受療勧奨	受診率	100%	100%
③ eGFR50未満の健康栄養相談利用者	健康栄養相談	次年度健診の eGFR改善率	84.6%	95%	

【事業の方向性】

新型コロナウイルス感染症予防対策をとりながら上記施策の推進に努め、令和5年度には改善率の向上等に努めます。

(2) 特定健診未受診者の重症化対策の目標

(図表 70) 特定健診未受診者の重症化対策の短期・長期目標値

特定健診未受診者の重症化対策					
目的	対象者をリスクに応じて分類し健診受診勧奨等を行い、糖尿病重症化を予防します。				
計 画 時 区 分	対象者	対応施策	現状値		
			H28	R元	
		特定健診未受診者 * 現在人工透析者を除く	—	4,399 人	3,884 人
	⑦	過去に糖尿病治療歴なし かつ 現在糖尿病治療あり (糖尿病新規治療者)	健診受診勧奨	13 人	9 人
	⑧	過去に糖尿病治療歴あり かつ 現在糖尿病治療あり (糖尿病継続治療者)	健診受診勧奨	92 人	69 人
	⑨	過去に糖尿病治療歴なし かつ 現在糖尿病治療あり (糖尿病治療歴なし)	健診受診勧奨	4,299 人	3,728 人
⑩	過去に糖尿病治療歴あり かつ 現在糖尿病治療なし (糖尿病治療中断者)	健診受診勧奨 医療機関受診勧奨	50 人	78 人	

【現状分析等】

当初は上記区分により対象者を抽出し、該当者へ必要な事業を実施しましたが、兵庫県国保団体連合会主催の「保健事業支援・評価委員会」においてより効果的な区分について助言を受け、変更した区分により抽出した対象者へ必要な事業を実施していることから上記区分を見直す必要がある。

【評価】

△ 改善しているが計画どおりではない (計画達成が危ぶまれる)

【目標値の変更】

次のとおり区分、目標値等を見直します。

変更後区分	対象者	対応施策	評価指標	現状値 (R1 年度)	目標値 (R5 年度)
	特定健診未受診者 * 現在人工透析者を除く	—	—	—	—
	糖尿病治療中断者 (過去に糖尿病治療歴あり かつ 現在糖尿病治療なし)	受療勧奨	受診率	13.3%	60.0%

【事業の方向性】

見直した区分により、新型コロナウイルス感染症予防対策をとりながら上記施策の推進に努め、令和 5 年度には受診率の向上に努めます。

(3) 高血圧リスク保有者の重症化対策

(図表 71) 高血圧リスク保有者の重症化対策の短期・長期目標値

高血圧リスク保有者の重症化対策					
目的	対象者をリスクに応じて分類し健康教室や受診勧奨等を実施し重症化を予防します。				
計画時区分	対象者	対応施策	現状値		
			H28	R元	
		特定健診受診者*現在人工透析者を除く	—	1,903人	1,653人
	⑪	収縮期血圧 130 mm Hg 未満かつ 拡張期血圧 85 mm Hg 未満(高血圧リスクなし)	健康教室	987人	832人
	⑫	収縮期血圧 130 mm Hg 以上または 拡張期血圧 85 mm Hg 以上	健康教育(笑顔 かがやき隊)	916人	821人
	⑬	収縮期血圧 160 mm Hg 以上または拡張期血圧 100 mm Hg 以上かつ現在高血圧症治療あり	医療機関での 継続治療促し	40人	60人
⑭	収縮期血圧 160 mm Hg 以上または拡張期血圧 100 mm Hg 以上かつ現在高血圧症治療なし	医療機関 受診勧奨	24人	30人	

【現状分析等】

当初は上記区分により対象者を抽出し、該当者へ必要な事業を実施しましたが、兵庫県国保団体連合会主催の「保健事業支援・評価委員会」においてより効果的な区分について助言を受け、変更した区分により抽出した対象者へ必要な事業を実施していることから上記区分を見直す必要がある。

【評価】

△ 改善しているが計画どおりではない(計画達成が危ぶまれる)

【目標値の変更】

次のとおり区分、目標値等を見直します。

変更後区分	対象者	対応施策	評価指標	現状値 (R1年度)	目標値 (R5年度)
	特定健診受診者*現在人工透析者を除く	—	—	1,653人	—
	①収縮期血圧 160 mm Hg 以上または拡張 期血圧 100 mm Hg 以上	受療勧奨 健康栄養相談 健康教室	対象者の 割合	7.1%	5.0%
	②収縮期血圧 160 mm Hg 以上または拡張 期血圧 100 mm Hg 以上に該当する未受 療者	受療勧奨	受診率	30.0%	50.0%

【事業の方向性】

見直した区分により、新型コロナウイルス感染症予防対策をとりながら上記施策の推進に努め、令和5年度には受診率の向上等に努めます。

(4) 高血糖・高血圧リスク複数保有者の重症化対策

(図表 72) 高血糖・高血圧リスク複数保有者の重症化対策の短期・長期目標値

高血糖・高血圧リスク複数保有者の重症化対策				
目的	対象者をリスクに応じて分類し生活習慣病予防教室の参加を促し重症化を予防します。			
計画 時 区 分	対象者	対応施策	現状値	
			H28	R元
	特定健診受診者*現在人工透析者を除く	—	1,903人	1,653人
⑮HbA1c (NGSP) 5.6%~6.4%かつ 収縮期血圧 140~159 mm Hg 未満または 拡張期血圧 90~99 mm Hg 未満 (高血圧リス クなし)	生活習慣病 予防教室	315人	253人	

【現状分析等】

当初は上記区分により対象者を抽出し、該当者へ生活習慣病予防教室への参加を促しましたが、兵庫県国保団体連合会主催の「保健事業支援・評価委員会」においてより効果的な区分について助言頂き、変更した区分により抽出した対象者へ必要な事業を実施していることから上記区分を見直す必要がある。

【評価】

△ 改善しているが計画どおりではない (計画達成が危ぶまれる)

【目標値の変更】

抽出区分及び目標値を次のとおり見直します。

変更 後 区 分	対象者	対応施策	評価指標	現状値 (R1年度)	目標値 (R5年度)
	特定健診受診者*現在人工透析者を除く	—	—	1,653人	—
	HbA1c (NGSP) 5.6%~6.4%かつ 収縮 期血圧 140~159 mm Hg 未満または拡張 期血圧 90~99 mm Hg 未満 (高血圧リス クなし)	健康教室 健診等での情 報提供	対象者の 割合	15.5%	13.0%

【事業の方向性】

見直した区分により、新型コロナウイルス感染症予防対策をとりながら上記施策の推進に努め、令和5年度には目標達成に努めます。